

「生きたい 行きたい 活きたい 南あわじに」 ～住み続けたい、訪れてみたい、魅力あるまちへ～



南あわじ市長 ^{もりもと} 守本 ^{かずひろ} 憲弘
無所属・福良 56歳
任期 平成29年2月13日～
平成33年2月12日

このたび南あわじ市長に就任いたしました守本憲弘です。どうぞよろしくお祈いします。

私は、大学進学のため淡路島を離れ、大学卒業後は通商産業省（現経済産業省）に入省し、約33年間にわたり行政に携わってまいりました。第2の人生はこれまでの経験を活かし、生まれ故郷である淡路島・南あわじ市の発展に力を尽くしたいと思います。

南あわじ市は、肥沃な大地や豊かな漁場から得られる自然の恵み、また先人達によって継承されてきた深みのある歴史など魅力あるふるさと資源が豊富な地域です。また素晴らしいアイデアを持った方々もたくさんいます。私は、これらの資源と人材を活かしながら、子どもたち、現役世代の方々、リタイアされ第2の人生を歩まれている方々、全ての市民の皆様が住みやすく、また生きがいを持って充実した人生を送れるまちづくりに取り組んでまいります。

市民の皆様との対話を基に、職員と一丸となって市政運営に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



中田市長・川野副市長・岡田教育長が退任



▲2月10日の退任式。職員らから見送られる中田市長と川野副市長、岡田教育長

2月12日任期満了により中田勝久市長が退任されたほか、川野四朗副市長と岡田昌史教育長も任期途中ながら同日で退任され、それに伴う「市長退任式及び副市長・教育長退任辞令交付式」が2月10日、市役所で行われました。中田市長から川野副市長と岡田教育長に退任の辞令を交付した後、市制10周年記念ビデオを観覧。南あわじ市の開庁から吉備国際大学地域創成農学部誘致や美菜恋米屋の建設などこれまでの歩みを振り返りました。退任にあたり中田市長は「これからも南あわじ市をキラリと光るような

市にしてください」と職員にあいさつ。最後に、3人に花束が手渡され、職員の大きな拍手で見送られました。

▼退任者の経歴等

中田氏は旧三原町長を3期務め、平成17年に南あわじ市の初代市長に初当選。3期12年間、旧4町の一体化や子育て対策、防災対策に尽力したほか、新庁舎や若人の広場公園の建設、小中学校の校舎耐震化などに取り組まれました。川野氏は旧南淡町教育長を経て、平成17年に市助役に就任。平成19年から副市長を務め、約12年間中田市政を支えるとともに、職員の教育にも尽力されました。

岡田氏は旧西淡町総務民生担当理事や市財務部長などを歴任し、平成23年から教育長に就任。学校施設の充実や、変動する教育環境に対応する礎を築かれました。なお、新しい教育長が選任されるまでは、岡一秀教育委員が職務代理者を務めます。

なお、新しい副市長及び教育長は議会の同意を経て、守本市長が選任及び任命します。

市長選挙及び市議会議員補欠選挙の結果

任期満了に伴う南あわじ市長選挙と、市議会議員補欠選挙が1月29日に告示されました。

市長選挙は無所属の守本憲弘氏以外に立候補がなく、無投票で初当選。また、市議会議員補欠選挙も無所属の太田康文氏以外に立候補がなく、無投票で初当選しました。※市長選挙当選者・守本氏の紹介は2頁で掲載



市議会議員補欠選挙当選者
おた 康文(32歳) ^{やすふみ}
無所属・潮美台
任期 平成29年2月6日、
平成29年11月10日

ランニングフェスティバルを開催

南あわじ市体育協会主催の「南あわじランニングフェスティバル」が2月12日、淡路ふれあい公園で開催されました。晴天に恵まれたこの日、子どもから大人まで約600人がさわやかな汗を流しました。

競技はファンランや親子でゴールを目指すファミリーペア、チームでタスキをつなぎ制限時間内に何周できるかを競うタスキリレーが行われ、各選手が自分にあつたコースに挑戦しました。沿道からの「頑張れ」「あと少し」などのたくさんの人からの声援を受けながら懸命にゴールを目指していました。



▲さわやかに疾走する参加者らと、沿道から声援を送る人たち